

## 6・3 貨物の安全な積み付けおよび運送

### 6・3・1 危険物の運送

国際航海における危険品の海上輸送は、固体ばら積み貨物については国際海上固体ばら積み貨物規則(IMSBCコード)、個品危険物(コンテナ)については国際海上危険物規程(IMDGコード)、液体ばら積み貨物については危険化学品のばら積運送のための船舶の構造および設備に関する国際規則(IBCコード)に詳細な要件が規定されており、国際海事機関(IMO)貨物運送小委員会(CCC)と汚染防止・対応小委員会(PPR)において、定期的な見直しが行われている。

#### 1. IMDGコード(国際海上危険物規定)改正

同コードは、危険物運送の実態等に対応して2年毎に改正が行われている。

第38回改正は2018年1月1日に発効し、第39回改正は2020年1月1日に発効した。

#### 2. IMSBCコード(国際海上固体ばら積み貨物規則)改正

IMSBCコードは2011年1月1日に強制化された。コード未採用の貨物の固体ばら積み貨物に掛かる詳細要件についての提案が各国からIMOに提出されており、CCCおよび海上安全委員会(MSC)において審議、採択されている。IMDGコードと同様、2年毎に改正が行われており、最新版(第4次改正)は2019年1月に発効している。

### 6・3・2 コンテナの損失防止策に係る SOLAS 条約改正(コンテナ総重量確定制度)

#### 1. 背景・経緯

2015年6月のMSC95において、海上コンテナ総重量の誤申告が原因とされるコンテナ損失事故の防止策として、船積み前のコンテナ実重量の確実な検量ならびに証明が行われるよう、国際海上輸出のコンテナ総重量検証(VGM)を義務付ける海上人命安全条約(SOLAS条約)の改正が採択され、2016年7月1日に発効した。

#### 2. わが国のコンテナ総重量確定制度

上記の改正 SOLAS 発効を受け、船舶安全関係省令改正、告示、実施ガイドライン制定等の法整備が行われたが、わが国のコンテナターミナル、荷主および船社において、大きな混乱は生じていない。国交省海事局では、諸外国を含むコンテナ情報伝達の課題調査・検討を行うため、わが国における国際海上輸出コンテナの安定的な輸送に必要な重量確定・情報伝達等のあり方に係る検討会を設置し、2017年10月から2018年6月までの期間に同検討会を計3回開催、その検討結果【資料6-3-2-1】を基に2018年12月、ガイドライン【資料6-3-2-2】の改訂等が行われた。

### 6・3・3 ISO／TC104(貨物コンテナ)に関する対応

#### 1. ISO／TC104(貨物コンテナ)の概要

国際標準化機構(ISO)の中で 104 番目に設置された専門委員会(TC)である TC104 は 21 カ国の正式加盟国(P メンバー:業務に積極的に参画し、規格投票に対する債務および可能な限り会議に参加するメンバー)および 28 カ国のオブザーバー加盟国(O メンバー:オブザーバーとして業務に参画するメンバーであり、意見提出、会議出席の権利を有する)にて構成され、貨物コンテナ、特に海上コンテナに関する標準化について審議している。傘下に 3 つの小委員会(SC)および 8 つのワーキンググループ(WG)が置かれている。

当協会は、日本工業標準調査会(JISC:Japanese Industrial Standards Committee)の承認の下、TC104 の国内審議委員会「ISO コンテナ委員会」の事務局を務めている。

|                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| ISO／TC104“貨物コンテナ”       | (ANSI(米国規格協会))    |
| SC1“一般コンテナ”             | (AFNOR(フランス規格協会)) |
| WG1“一般貨物コンテナ”           | (AFNOR)           |
| WG2“取扱いおよび固縛”           | (AFNOR)           |
| SC2“特殊コンテナ”             | (BSI(英国規格協会))     |
| WG1“冷凍コンテナ”             | (BSI)             |
| WG4“タンクコンテナ”            | (BSI)             |
| WG6“プラットフォームコンテナ”       | (BSI)             |
| SC4“識別および通信”            | (AFNOR)           |
| WG1“コード、識別および表示方法”      | (AFNOR)           |
| WG2“コンテナおよび付属品に関する AEI” | (AFNOR)           |
| WG3“通信および用語”            | (AFNOR)           |
| ( )内は事務局                |                   |

#### 2. ISO／TC104 の活動状況

ISO／TC104 は、2019 年 4 月から 2020 年 3 月に以下 1 件の新業務項目(NP)、1 件の委員会原案(CD)と 2 件の最終国際規格案(FDIS)を承認した。

|     |                        |                                                                                                                                                       |
|-----|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| SC1 | ISO/FDIS 668 (Ed 7)    | Series 1 freight containers – Classification, dimensions and ratings                                                                                  |
| SC2 | ISO/FDIS 20854         | Thermal containers – Safety standard for refrigerating systems using flammable refrigerants – Requirements for design and operation                   |
| SC4 | ISO 6346:1995/CD Amd 4 | Freight containers – Coding, identification and marking – Amendment 4: ISO 6346 – Freight containers – Coding, identification and marking–Amendment 4 |
|     | ISO/NP 4502            | Freight containers – NFC seals                                                                                                                        |